

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

平成30年度 事業報告書

1. 公益社団法人としての事業推進

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会として、重症心身障害児者の福祉の向上並びにその家庭の福祉の増進に寄与することを目的として、公益事業を始めとした各事業の推進を図った。

先ず、重症心身障害児者施設入所利用者だけでなく、在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する支援のより充実を図るため「医療的ケア児への支援強化」や「重症心身障害児者のコーディネーターの育成に向けた支援」の取り組みを推進した。

また、職員の育成のための職員研修での普及、学会や研究会をさらに推進、強化を図った。

2. 諸会議の開催

当協会の事業について、重要案件を審議し執行するため、次の会議を開催した。

(1) 定時総会 平成30年5月22日(火) 兵庫県神戸市

(2) 理事会

第1回 平成30年4月25日(水) 東京都中央区
第2回 平成30年5月30日(水) (書面)
第3回 平成30年9月17日(月) 東京都中央区
第4回 平成31年3月17日(日) 東京都中央区

(3) 各種委員会の開催

①医療問題検討委員会

第1回 平成30年9月8日(土) 東京都中央区

②福祉問題検討委員会 在宅支援部会

第1回 平成30年9月17日(月) 東京都中央区

③学術委員会

第1回 平成30年5月23日(水) 兵庫県神戸市

第2回 平成30年7月8日(日) 大阪府大阪市

第3回 平成30年10月4日(木)、5日(金) 和歌山県和歌山市

④人材育成・研修委員会 専門看護師部会

第1回 平成30年5月21日(月)、22日(火)、23日(水)

兵庫県神戸市

第2回 平成30年10月4日(木)、5日(金) 和歌山県和歌山市

第3回 平成30年11月1日(木) 茨城県水戸市

3. 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会等の開催

(1) 全国施設協議会

日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会を厚生労働省、兵庫県、神戸市の後援を得て平成30年5月22日(火)から23日(水)の2日間、兵庫県神戸市において開催した。

本会議は重症心身障害児者の療育に関する調査研究並びに施設の運営上の諸問題及び職員の研修等について協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催している。

平成30年度は全国134の当協会の会員施設から、施設の長、事務(局・部)長及び総看護師長等並びに行政機関の担当者405名の参加があった。

第1日目の午後に、行政説明と特別講演が行われた。

①行政説明「障害児支援施策の動向」

刀根 暁氏(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課
障害児・発達障害者支援室 障害福祉専門官)

②特別講演「療養介護と重症心身障害施設のこれからを考える～医療と介護の同時改定も踏まえて」

児玉和夫氏(堺市立重症心身障害児(者)支援センター(ベルデさかい)センター長)

第2日目の午前はシンポジウム、午後は日本重症心身障害福祉協会各委員会及び日本重症心身障害福祉協会東日本・西日本施設協議会から活動報告が行われた。

①「重症心身障害児者が社会で豊かに暮らすための支援の進化」をテーマにシンポジウムが行われ、講演の後にフロアとの質疑応答が行われた。

(シンポジスト)

- ・「重症心身障害児者に対するチーム医療」(ボバース記念病院 荒井 洋 院長)
- ・「重症心身障害児(者)の医療・療育の国際化について」(東京都立東大和療育センター小児科医長兼リハビリテーション科 曾根 翠 科長)
- ・「ICTを活用した重症心身障害児者の医療情報等の共有に向けた調査研究事業」(恵み聖母の家 佐藤圭右 施設長)
- ・「神戸市における医療福祉コーディネート事業の紹介」(にこにこハウス医療福祉センター 河崎洋子 施設長)
- ・「びわこファミリーレスパイトのめざすもの」(NPO法人 びわこファミリーレスパイト 熊田知浩 理事長(滋賀県立小児保健センター小児医科長))
- ・「家族から見た医療的ケア児の在宅支援」(はなちゃん薬局 山岡玄馬 薬剤師)

②当協会各委員会より主に平成29年度の活動報告、平成29年度の日本重症心身障害福祉協会東日本・西日本施設協議会の報告。全国心身障害児日中活動支援協議会(在宅支援部会において報告)の報告が行われた。

(2) 日本重症心身障害福祉協会東日本・西日本施設協議会

①第45回日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会

平成30年11月8日(木)、9日(金)の2日間、静岡県浜松市において開催し、東日本重症心身障害児者施設の65施設170名の参加があった。

②第39回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会

平成30年11月15日(木)、16日(金)の2日間、佐賀県鳥栖市において開催し、西日本重症心身障害児者施設の63施設203名の参加があった。

本会議は、重症心身障害児者施設の運営上の諸問題及び重症心身障害児者の療育に関する情報交換等を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的として開催しているものである。

4. 全国重症心身障害児者施設職員研修会の実施

重症心身障害児者施設に勤務する各種職員を対象に実施しているが、研修会開催初日は公開講演として在宅重症心身障害児者に関わる方をホームページにて公募し参加いただいている。

平成30年度は、職員の資質向上を目的として下記の研修会を実施した。

(1) 看護師コース

平成30年9月12日(水)～14日(金) 大阪府大阪市 参加者106名

(2) 栄養士・調理師コース

平成30年10月17日(水)～19日(金) 大阪府大阪市 参加者130名

(3) 看護管理研究会コース

平成30年10月31日(水)～11月2日(金) 茨城県水戸市 参加者136名

(4) 医療技術管理コース

平成30年11月21日(水)～23日(金) 大阪府大阪市 参加者191名

(5) 保育士・児童指導員等(療育職員)コース

平成30年12月5日(水)～7日(金) 大阪府大阪市 参加者122名

(6) 施設管理研究会コース

平成31年1月23日(水)～25日(金) 大阪府大阪市 参加者185名

5. 第29回重症心身障害療育学会学術集会の開催

重症児施設療育研究大会を平成17年度から重症心身障害療育学会に改めて開催している。第29回重症心身障害療育学会学術集会を厚生労働省、和歌山県、和歌山市、読売光と愛の事業団の後援を得て、平成30年10月4日(木)、5日(金)の2日間、和歌山県和歌山市において開催し83題の演題であった。

また、参加者は2日間で384名であった。

6. 在宅重症心身障害児者の支援者育成事業

医療的ケア児等コーディネーターの育成支援や在宅医療及び障害福祉サービスを

必要とする障害児等の地域支援体制構築への支援を推進した。

7. 重症心身障害児者施設永年勤続者の表彰

重症心身障害児者施設に勤務する10年以上の永年勤続者を表彰した。

平成30年度の永年勤続者は631名であり、定時総会時に行う永年勤続者表彰式で116名の参加者を表彰した。

8. 日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師制度の充実と認定重症心身障害看護師合格者の認定証の授与

平成24年度から重症心身障害看護の質の向上、認知度のアップ、看護師の確保と育成に繋げ、重症心身障害児者とその関係者に適切な看護を提供し、重症心身障害児者のより良い生活・生涯に寄与することを目的として、日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師制度を実施し認定重症心身障害看護師合格者に認定書を授与してきたところであり、今後とも制度の充実を図ることとした。

平成30年度の認定者数は60名で30名の参加者に認定証の授与を行った。

なお、平成28年度から5年を経過する者を対象に認定更新審査を実施している。

9. 全国重症心身障害児者施設実態調査の実施

本調査は、公法人立の施設の入所児（者）を対象とし、療育の向上に資するため、毎年実施しているが、平成30年4月1日現在等での施設等の実態を調査した。

また、在宅支援関係調査については内容を見直し実施した。

10. 超重症児（者）、準超重症児（者）の実態調査の実施

平成30年度においても、超重症児（者）及び準超重症児（者）の実態調査を例年に準じ実施した。

11. 関係機関及び関係団体との連絡、連携の強化

関係機関との連携を密にして円滑な協会運営を図った。また、関係団体相互の連絡を密にして重症心身障害児者の療育に関する理解を深めて、相互の連携強化を図った。特に、全国重症障害児（者）を守る会、国立病院機構国立重症心身障害協議会、日本重症心身障害福祉協会の連絡会議を平成30年7月1日（日）大阪府大阪市で開催した。

12. 関連する調査研究事業への参画

「介護職員による喀痰吸引等のテキスト等の作成に係わる調査研究」（障害者総合福祉推進事業）、「障害福祉サービス等報酬における医療的ケア児の判定基準確立のための研究」（障害者政策総合研究事業）等に、参画した。

13. 広報紙の発行

広報紙「重症児とともに」を発行し、関係者及び関係機関等へ配布した。
また、協会ホームページへの掲載を行った。